

# シティズンシップを育くむ

## ～「未成年“模擬”選挙」からみえてきたこと～



林 大介 E-mail [jza04643@nifty.ne.jp](mailto:jza04643@nifty.ne.jp)

- ・特定非営利活動法人Rights常務理事  
模擬選挙ブログ
- ・特定非営利活動法人21世紀教育研究所事務局長
- ・子どもの権利条約ネットワーク事務局長
- ・桐朋女子中学高校非常勤講師(中3公民担当)

<http://www.hayadai.net>

<http://www.rights.or.jp>

<http://www.mogisenkyo.com>

<http://www.edu21c.net>

<http://www6.ocn.ne.jp/~ncrc>



# 1 : 「未成年“模擬”選挙」とは何か

## (1) 模擬選挙とは

- 1: 有権者ではない19歳以下が、実際の選挙日程にあわせて、実際の選挙の立候補者または政党(国政選挙における比例区)に対して記名投票を行う
- 2: 民主主義の土台である選挙を「体験」することによって、子どもや若者が民主主義や政治のしくみを学ぶ機会を創出する
- 3: 学校や地域など各地で投票された模擬選挙の結果は、Rightsが集計し、実際の選挙の投票結果が公表された後に、一般に対して公表しあわせて立候補者、マスコミ、各種団体などに届ける 公表が不可能な場合はこの限りではない

外国では・・・

アメリカ: 2004年11月の大統領選挙において、全米で410万人規模で実施

<http://www.nationalmockelection.com/>

コスタリカ: 20年以上も取り組まれている(実際の投票所の隣に模擬選挙の投票所がある)

その他、イギリス、フランス、ドイツなど、多くの国で模擬選挙は実施されており、有権者を育てるためのポピュラーな活動として認識されている

# 1 : 「未成年“模擬”選挙」とは何か

## (2) 模擬選挙の実践を通じて感じたこと、見えてきたこと

- ・選挙 = 「民主主義」の根幹
- ・単に選挙制度を学ぶだけではなく、実際の社会の動きについて学ぶチャンス
- ・未来の有権者は、それぞれ、自分なりの感覚で政治を感じている

“しがらみ”がないため、純粹に物事をとらえられる 2 (2) (3) 参照

“理想”が大きくなり、現実的に物事をとらえにくい

「政治教育」と「シティズンシップ教育」「地球市民教育」「民主主義教育」「開発教育」…

法治国家では、行政・政治が行うすべてのサービスは「法」によって決まる

「法」が決まる場所 = 議会

「議会」のメンバー = 議員 = 国会議員、地方議会議員、首長

「議員」「首長」を誰が選ぶのか = 有権者

「有権者」は、自分たちの生き方を決める人を選ぶ責任があり、

どのような人を選んだらいいのかを考える必要がある

地域から地球規模の課題までのすべて、「政治」によって左右されている

「政治教育」= 生活している社会のあり方について学ぶこと(有権者だけの問題ではない)

# 1 : 「未成年“模擬”選挙」とは何か

## (3) 模擬選挙の可能性

### ・模擬選挙の3つのメリット 2 (2) (3) (4) 参照

#### 1: 民主主義を体感

政治に対する関心を高め、それまで知らなかった地域の課題、社会的な問題に気づき、考えるきっかけとなり、社会の一員としての責任と自覚を感じる

#### 2: 有権者を育てる

実際の選挙と連動した模擬選挙を通じて、誰も教えてくれない投票方法や立候補者・政党などの選び方を学ぶ

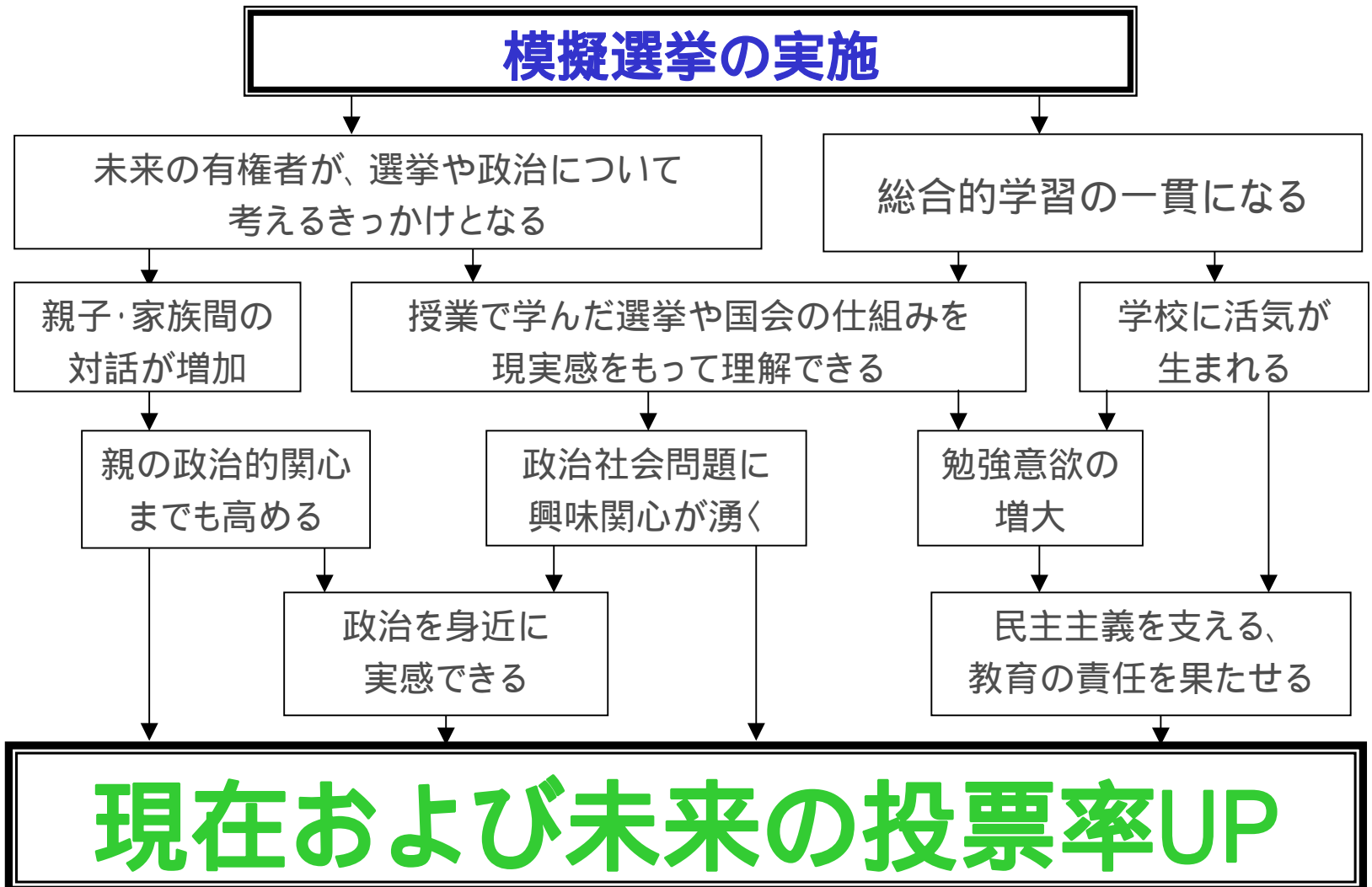
#### 3: 投票率UP

“政治”についての対話が家庭や地域で生まれ、実際の有権者(保護者、兄・姉など)に対する投票の働きかけにつながる

### ・自分自身の考えをまとめ、自己表現できるようになる

# 1 : 「未成年“模擬”選挙」とは何か

## (4) 模擬選挙実施による社会的効果



# 1 : 「未成年“模擬”選挙」とは何か

## (5) これまでRightsとして実施した模擬選挙のあゆみ

その他、地域の団体が実施した模擬選挙が5回/投票数のカッコ内は有効票数

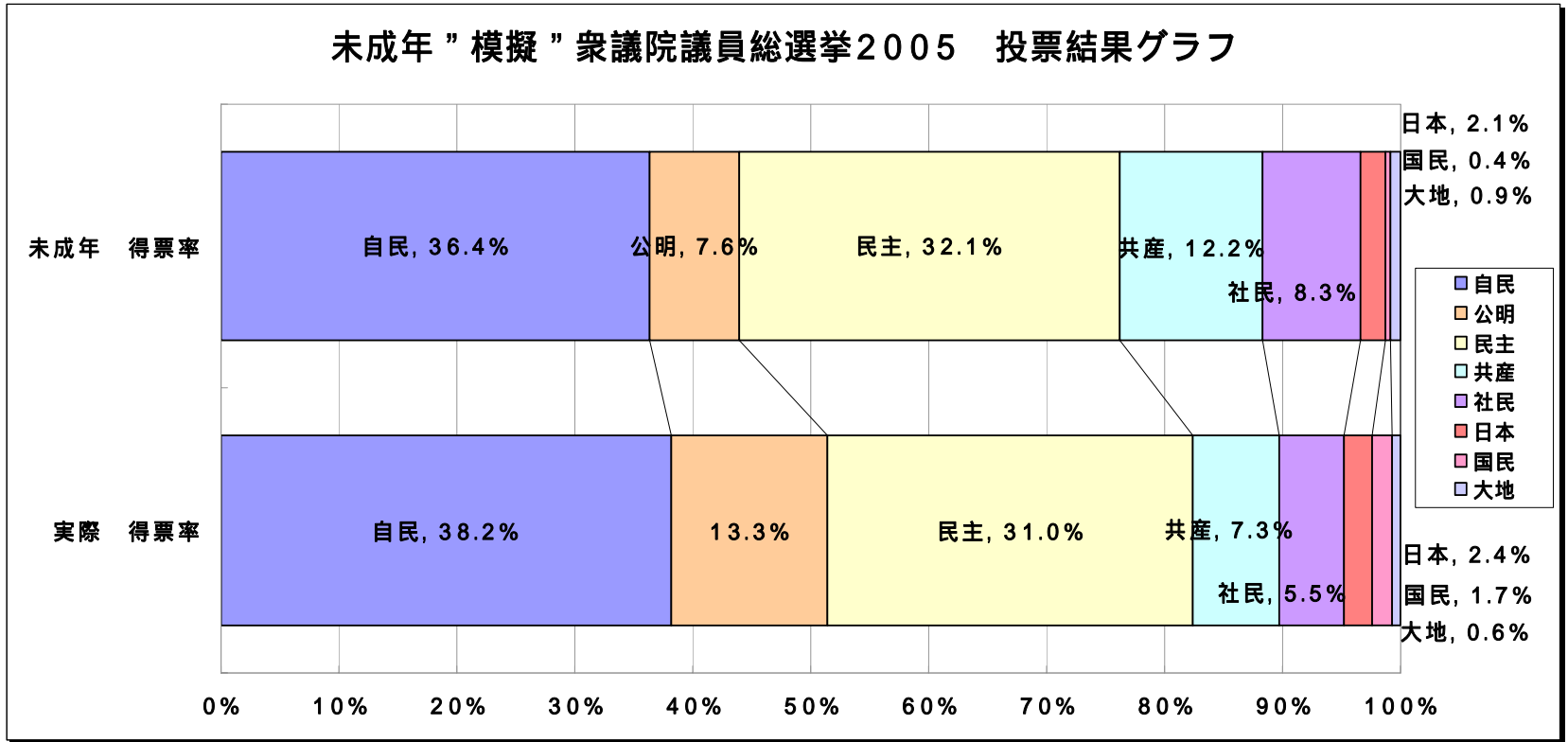
実施選挙	実施期間	投票数	特 色
町田市長選挙 (東京都)	2002年2月17日(日) ～ 2月24日(日)	91票 (91票)	<ul style="list-style-type: none"> <li>立候補者5名の事務所を高校生が訪ねる「選挙事務所探検隊」「10代による公開質問状」を実施</li> <li>町田青年会議所の有志が協力</li> </ul>
多摩市長選挙 (東京都)	2002年4月14日(日) ～ 4月21日(日)	152票 (140票)	<ul style="list-style-type: none"> <li>街頭投票に初めて取り組む</li> <li>公開討論会を行なったメンバーと協働で取り組む</li> </ul>
第43回衆議院 議員総選挙	2003年10月29日 (水) ～ 11月9日(日)	2145票 (2009票)	<ul style="list-style-type: none"> <li>比例区(政党別)での投票を呼びかける</li> <li>全国から7校、1地域(岐阜1区)が参加</li> <li>主要5政党からマニフェストとポスターの提供を受けた</li> </ul>
第20回参議院 議員選挙	2004年6月25日(金) ～ 7月11日(日)	4826票 (3658票)	<ul style="list-style-type: none"> <li>全国から21校、1地域(岐阜県)が参加</li> <li>主要5政党の政党本部を中高生世代が訪問し、国会議員と意見交換する「政党本部探検ツアー」と、「10代による公開質問状」を実施</li> </ul>
千葉県知事選挙	2005年2月25日(金) ～ 3月13日(日)	485票 (445票)	<ul style="list-style-type: none"> <li>千葉マニフェスト討論フォーラムと協力し、合同個人演説会が行なわれた県内5ヶ所のうち2ヶ所で模擬選挙を実施</li> <li>県内に支局を有するマスコミ5社から「名義後援」をいただく</li> </ul>
さいたま市長選 挙(埼玉県)	2005年5月2日(月) ～ 5月15日(日)	125票 (119票)	<ul style="list-style-type: none"> <li>街頭投票を中心に投票を呼びかけた</li> <li>「10代による公開質問状」を実施</li> </ul>
東京都議会 議員選挙	2005年6月24日(金) ～ 7月3日(日)	402票 (342票)	<ul style="list-style-type: none"> <li>都内の学校3校(高校2、匿名1)が参加</li> <li>選挙管理委員会から投票箱や選挙公報の提供を受ける学校も有</li> <li>区部および市部、計4箇所街頭投票を行う</li> </ul>
第44回衆議院 議員総選挙	2005年8月31日(水) ～ 9月11日(日)	6754票 (6099票)	<ul style="list-style-type: none"> <li>全国から42校が参加(中学11、高校29、高専1、専門1) = 5396票</li> <li>街頭投票 = 567票、ウェブ投票・Fax投票 = 791票</li> <li>ニュース番組で全国放送され、認知度が高まる</li> </ul>



## 2：「未成年“模擬”衆議院議員総選挙」(2005年9月実施)結果概要

シテインソシツヲを育む～「未成年“模擬”選挙」から見てきたこと

### (1) 投票結果



	自民党	公明党	民主党	共産党	社民党	新党日本	国民新党	新党大地	有効票合計
未成年 得票数	2,220	464	1,960	741	508	130	24	52	6,099
未成年 得票率	36.40%	7.61%	32.14%	12.15%	8.33%	2.13%	0.39%	0.85%	100%
実際 得票数	25,887,798	8,987,620	21,036,425	4,919,187	3,719,522	1,643,506	1,183,073	433,938	67,811,069
実際 得票率	38.18%	13.25%	31.02%	7.25%	5.49%	2.42%	1.74%	0.64%	100%



## 2：「未成年“模擬”衆議院議員総選挙」(2005年9月実施)結果概要

### (2) 政党別投票理由(2005年9月 衆議院議員総選挙) その1

#### 自由民主党

- ・自民党と公明党以外の党が政権を握っても、今演説などで言っていることが本当に出来るのかと思うから(東京都、11歳、男性)
- ・一番郵政民営化を実行してくれそうだから(広島県、14歳、男性)
- ・政策には、反対だけどこれからの日本は、この党にしか任せられない！！(大阪府、14歳、男性)
- ・やっぱり小泉さんが日本のリーダーにふさわしいと思うから。郵政民営化に賛成だし、郵政改革ごときができて、年金や少子化などの大きな改革が出来るのか、と思うから(神奈川県、15歳、女性)
- ・小泉首相の、積極的な政治手法を指示している。郵政民営化や道路公団の民営化など、族議員の妨害によりなかなか進まなかった改革が、ようやく小泉首相によって進んでいこうとしているから。今、民主党に政権を任せても、党内がバラバラなので、どうなるか不安である。また、他の野党も、聞こえのいい言葉ばかりを並べている感じがする。有罪判決が出た候補者、控訴中の候補者など、倫理的に出馬してよいものなのか疑問だ。自民党は、郵政民営化という一つの路線をしっかりと維持しているところを評価したい。(埼玉県、17歳、女性)
- ・郵政民営化などを押し進めて行財政改革を行おうとする小泉首相を支持するから(愛知県、19歳、男性)

#### 民主党

- ・政権交代してほしいから(石川県、13歳、男性)
- ・郵政民営化以外の政策にも目を向けているから。政権交代をしてもらいたいから(神奈川県、15歳、女性)
- ・自民党は前回の政治公約をほとんど果たしていない。優勢民営化には賛成だが専門家の話によると今のままの内容だとアメリカの企業に進出されてしまうらしい。テレビでは毎年アメリカからの要望の詰まった文書が送られて来るらしいし。小泉総理になってから国債の発行が増え、国の借金は増えるばかりなどと言われている。自民党にこのまま政権をおいてると日本は崩壊するかもしてないので、(言いすぎですが)一応民主党に政権交代をして様子を見るって形にして欲しいです(東京都、15歳、女性)
- ・マニフェストを読み議員年金の廃止や高速道路の無料化、国のムダ使いをなくすなど興味を持たせるような公約だったので投票しました(東京都、16歳、男性)
- ・今の政界に必要なことは政権交代で、今の野党第一党は民主党だから。「どこの党が政権をとる」よりも「政権交代を行い今の体制を変える」ことのほうが重要だと思っている(東京都、17歳、男性)
- ・4年半も何の成果も上げることのできなかった自民党から政権を交代して、新しく改革を進めてくれると思うから(福岡県、18歳、女性)

## 2：「未成年“模擬”衆議院議員総選挙」(2005年9月実施)結果概要

### (2) 政党別投票理由(2005年9月 衆議院議員総選挙) その2

#### 公明党

- ・僕たちのことを一番考えてくれるから(愛知県、8歳、男性)
- ・公明党が勝つと日本が平和になると思うから(北海道、11歳、女性)
- ・個人的に郵政民営化は賛成です。ここで政権を野党に譲るとこれからの日本が心配で信用できません。ここで自民党と協力している公明党に一票！(福岡県、14歳、男性)
- ・他の政党と比べ、一番誠実で国民視点だと思ったから(三重県、16歳、男性)
- ・公明党の掲げるマニフェストは僕自身が国民として実感できる。公明党は国民の立場にたって行動している政党だと思ったから。また「しがらみ」のない政党だからこそ改革を断行できると思う為(埼玉県、18歳、男性)
- ・過去のマニフェストの実現力・実行力の高さが決め手です。少子化対策や高齢社会化への対策、ニート対策の他にも、普段必要で当たり前のようなことでも見落としがちなことへの対策など、政策が庶民の目線に立っているのだと思います(佐賀県、19歳、男性)

#### 共産党

- ・名前の印象とちがいで、増税や憲法9条の改正に反対して、今回の争点と言われている郵政民営化も、民営化をしない方がよいという事を他の党よりも明確に言っているのだから、私たち国民にとってより良い政治を行ってくれると思いました(神奈川県、12歳、女性)
- ・二大政党制を止めるに当たり、共産党や社民党は重要な役割がある。小選挙区で日本共産党を支持しなかったのは、過去から考えても当選できる確率が低く一票を投じても確実に当選しない、ある意味無駄な票となる。なので勝算がある比例区として共産党に一票を入れる。二大政党政治はある意味の一党独裁政治となってしまう。そこに第三党があれば独裁的な暴挙に出ても止められる。社民党との違いは戦後どんな党とも連合を組まず一党のみであり続けた点で違う。そういった孤立的なのがストッパーとして有効的である(京都府、15歳、男性)
- ・やましいところがない政党であるから。憲法改悪を阻止し国民の平和な生活を確保できるのは共産党しかないと思う。社民党は政党な理由なく職員を解雇してから信頼できなく感じた。改憲を主張する民主党との選挙協力疑惑もある(北海道、16歳、男性)
- ・各党のマニフェストを見比べてみたところ、具体的な数値などを使って分かりやすく示していたため。自民党のマニフェストは郵政民営化説明不足。民主党のマニフェストは理想が高すぎて現実性がみられませんでした、次の機会に期待したいと思います(埼玉県、17歳、男性)
- ・総合的に見て最も「人間らしい」政策を打ち出していると思えた。ただ、実行力があるかどうかは不安(東京都、18歳、女性)

## 2 : 「未成年“模擬”衆議院議員総選挙」(2005年9月実施)結果概要

### (2) 政党別投票理由(2005年9月 衆議院議員総選挙) その3

#### 社民党

- ・憲法9条を守ることは2度と戦争をおこさないために絶対に大切だと思うので、共感しました(千葉県、16歳、女性)
- ・私が社民党を選んだ理由は、社民党が憲法9条を守ろうとしてるからだ。憲法9条はなくてはならない憲法だと思う。頑張っ  
て守り抜いてほしい(北海道、17歳、女性)
- ・女性の子育て支援に力を入れてくれそう。将来のためにも応援したい(大阪府、18歳、男性)
- ・経済の自由化よりも格差是正に主眼があるから。憲法改正・外交・安全保障の点でも一般の生活者の視点が大事にさ  
れているから(千葉県、19歳、男性)

#### 新党日本

- ・今回、政権をとるのは難しいと思うが、今まで日本に無かった仕組みで党を立ち上げ、時間は掛かるが、今の日本を変  
えてくれそうだから(福島県、15歳、男性)
- ・党首が中央の考えに染まっておらず、地方の考えも取り入れてくれるのではないかと思うから(長野県、18歳、男性)
- ・新体制による既存の体制への抵抗勢力として(愛知県、19歳、女性)

#### 国民新党

- ・記載なし

#### 新党大地

- ・北海道に新しい風を吹き込んでくれそうだから(北海道、15歳、男性)
- ・税金の無駄遣いをなくしてほしい。郵政民営化よりも先にすべきことがあると思う(北海道、17歳、女性)
- ・地域新党として、北海道の代弁者として、まず鈴木宗男氏を国政の場に送り出したいのです。もちろん鈴木氏のみを支  
援しているわけではありませんが、北海道のことを考え、北海道のための政治を行う、確かに古い形の政治と言わ  
れるかもしれませんが、実際に地域に根ざさない政治になれば、地方の現実を見据えない、永田町・霞ヶ関の紙面  
による政治となってしまう、ますます地方切り捨てや官僚政治にむかっていくだけだと思います。民主党には政権を  
取ってほしい(民主党が地域に根ざしていない、と言うわけではありません。)、ただし新党大地として北海道の現実  
を国会で主張してほしいと思いました(北海道、17歳、男性)

## 2 : 「未成年“模擬”衆議院議員総選挙」(2005年9月実施)結果概要

### (3) 模擬選挙に参加しての感想 (敬称略/順不同)

- ・子供の投票ができたから、うれしいです(愛知県、9歳、女性)
- ・誰にするか、どの党にするか、考えるのが大変でした(東京都、10歳、男性)
- ・未成年の人に選挙をすることで政治に関心が持てると思うからいいと思う(東京都、11歳、男性)
- ・反対ばかりしている党は本当に市民のことを考えているとは、思えない(愛知県、12歳、女性)
- ・法律では、20歳以上しか投票出来ないし、20歳以下は意見も聞いてもらえないから、こういう投票というのは、とてもいいと思う(北海道、13歳、女性)
- ・選挙に行かない大人が増えているのは、悲しい現実だと思う。自分達の未来を決められる参政権なのに、使わないなんでもったいないと思う。もっと自分の権利に、正しく対応するべきだと思う(東京都、14歳、男性)
- ・模擬選挙は投票権がない僕らでも参加できる唯一の選挙であってとてもおもしろいです(福岡県、14歳、男性)
- ・昨日のテレビ番組で模擬選挙の存在を知りました。中学校の公民の授業は、このような考えさせる授業だったのに高校の授業はただ単に政治に関する用語を覚えたりするだけで飽き飽きしていました。今回この選挙に参加できたことを嬉しく思います。これからも是非続けていって下さい(神奈川県、15歳、女性)
- ・選挙なんて先の話と関心が無かった私ですが、テレビで模擬選挙の事を知って何だか興味がわきました。日本の政治を誰に任せるか、決めるのは国民なんですよ。慎重に選ぶ時がいずれ来るのでこういった活動はとても良いと思います(北海道、15歳、女性)
- ・今回投票してみて、改めて自分の1票を投じることは大切なことだと思いました(神奈川県、15歳、男性)
- ・実際にマニフェストなどを見るとどの政党が良いかでとても迷った。選挙権を持ったときにこの経験を生かしたい(愛知県、16歳、男性)
- ・日本の国民なら日本の政治に参加する。これは民主主義国家の基本です。自分の希望としては投票が出来る年齢を20から国際標準の18に引き下げ、更に学校等でこの様な取り組みを行えば若者の政治への関心も上がると思いますし、良い取り組みだと思います。今後とも活動を続けて欲しいです(宮城県、17歳、男性)
- ・日本の将来を大きく左右するこの選挙に投票できないことは、とても残念です。しかし、この模擬選挙によって自分の意思を社会に伝えることができました。一人でも多くの有権者が投票に行き、国民の意思によって政治が行われる日本になればいいと思います(東京都、18歳、女性)
- ・20代の政治に対する関心の低さは、日本の政治・政治家の水準を下げるものとなると、聞いたことがあるが、これは今の若い世代の将来をととても不安にさせるものと感じます。「俺らには関係ない」といった政治への無関心は、自分たちの将来に対する責任放棄であり、次の世代への責任放棄だと思います。つまり、親が子供のこと、また、子供の将来について無関心であるということと一緒です。そんな親は親失格であるように、政治に興味を持たない人は、(大分極端な話ですが、)国や地方の住民失格だと思います。有権者になって選挙で投票するときに備えて、もっと学校などの場でも政治に対する学習や模擬選挙のようなものやってみてもいいのではないかと思います(佐賀県、19歳、男性)



## 2：「未成年“模擬”衆議院議員総選挙」（2005年9月実施）結果概要

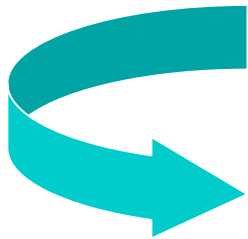
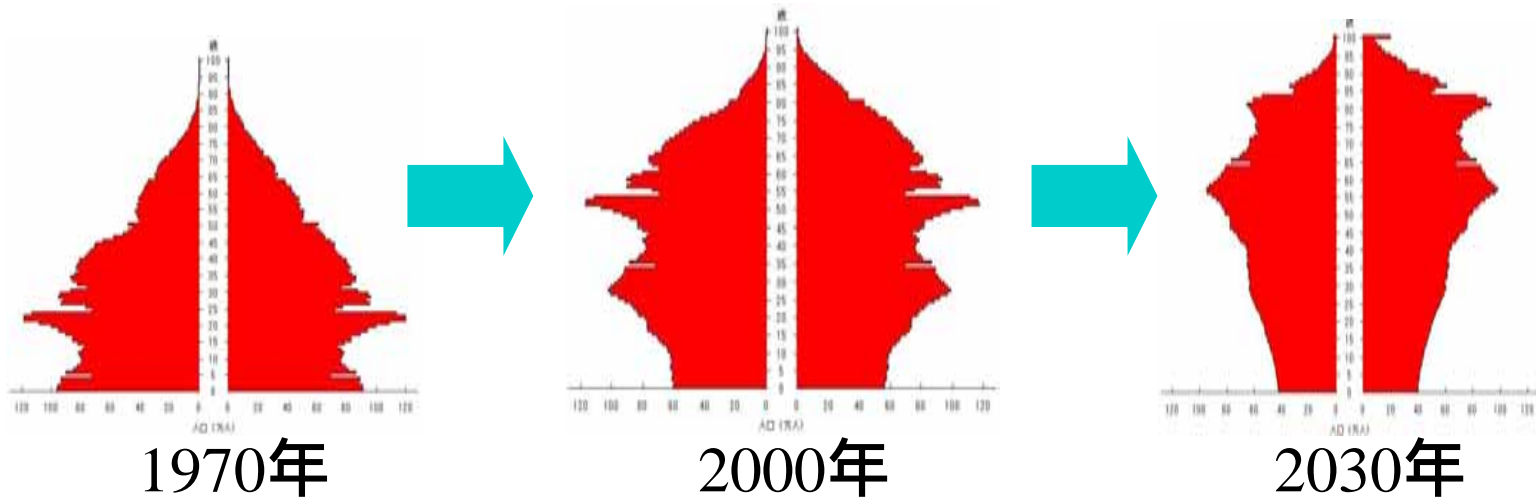
### (4) 模擬選挙を実施された学校関係者からのコメント(敬称略/順不同)

- ・今回の特徴としては、投票率が悪く初めて本物に負けました。体育祭の翌日だったためみんな疲れきっていたのかなあと思いましたが、聞き込んでみると、一番政治について真剣に考えている層・いつもなら率先して選挙に来た層が悩み抜いた？未棄権したという傾向がありました(都立武蔵高校・松田先生)
- ・生徒には政策、公約をよく考慮して投票するように言いました。全員とは言いませんが、ある程度はしっかりと投票してくれたと思います。前回よりも参加校が増え、この試みもだいぶ知名度が高まってきたと思います。また新聞などでも模擬選挙についてまだまだ理解が進んでおらず、実施できなかった学校があるとも聞いております。いろいろと課題もありますが、今回は参加校ももっと増えて欲しいと思いますし、このような試みがすべての学校で行われる日がくると考えています(東海大付属第4高校・工藤先生)
- ・高校3年女子は教科情報の時間で行った。パソコン教室で概要説明をした後各々がネットや配布したマニフェストで2時間の調べ学習を行った。教室でのポスター掲示(雰囲気作り)と近い将来自分自身も有権者になるという事を前面に押し出して授業を進めた。ワークシートを用いて記入させる事で情報収集能力の向上も計れた。一番大事な生徒の選挙に対する意識の変容もしっかりと出来たように感じている。若年層(有権者)の選挙に対する無関心な態度が問題になっているがこのような若い時期から教育として考える事は非常に重要で大切であると実感できた。(自由学園・更科先生)
- ・「選挙権が早くほしい。投票に参画したい」旨の意見が多数出た。過去にも「模擬選挙」を除く実践は「参議院議員選挙」(2001)で行ったが、やはりこういった企画は大変タイムリーでよいと思う。そして、「社会科」の授業だけではなく、NIE(Newspaper in education)」を通じての「英語」授業でも切り口は十二分にあるとも思う。様々な角度より、他教科に渡って切り込んでいっても興味深いと感じた。(苫小牧高専・山西先生)
- ・昨年に引き続き行ったが、今回事前に市選管を訪ね、本物の選挙箱をお借りしたのがよかった。またライツから送られた各政党のポスター、マニフェストも授業で紹介できて、ありがたかった(長野県松本筑摩高校・有賀先生)
- ・事前の準備が大変だったが、ライツのホームページにあるツールや送付してもらったポスター等は非常に有用だった。生徒の反応は昨年とは比べものにならないほどよく、アンケートに書かれた感想からも多くの生徒たちに有権者意識を育てることができたようだ。但し、候補者・政党を選んだ理由としては、知名度や年齢(より若い候補者)、「なんとなく」といったものが多く、政策ではなかなか判断できない投票者の現実のようなものを実感した。今後の課題としては、今回は時期的に一回の授業でしか取り上げられず、小選挙区の候補者については政党名だけで判断させることになったが、今後は授業を二回にわけて、生徒各自の属する選挙区の候補者に関する情報を収集する作業を入れる必要があると感じた。(華学園栄養専門学校・磯野先生)

### 3：シティズンシップをどのように育むのか

シティズンシップを育む～「未成年“模擬”選挙」から見えてきたこと

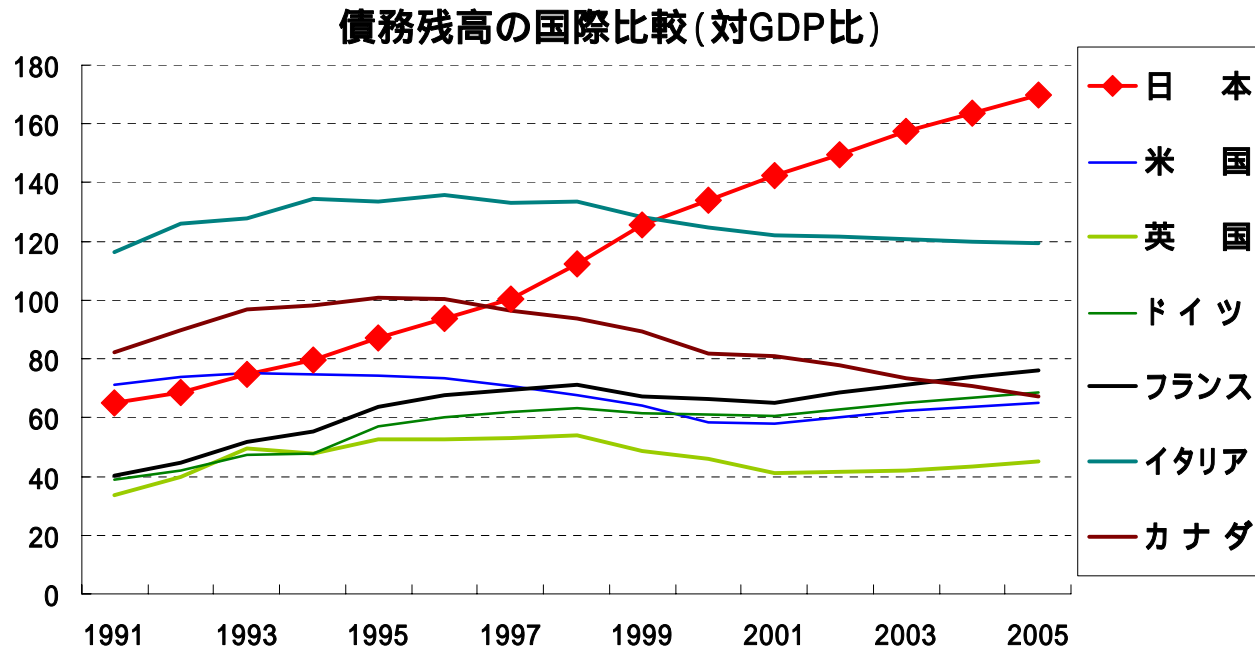
(1) 社会の現状 変化する人口構成(左:男性、右:女性)



今までよりも少ない人数で、  
多くの高齢者を  
支える必要がある！

### 3 : シティズンシップをどのように育むのか

#### (1) 社会の現状 積み重なる財政赤字



人口・経済の成長が小さくなっていく中で、  
将来返済を要する債務額は拡大している！

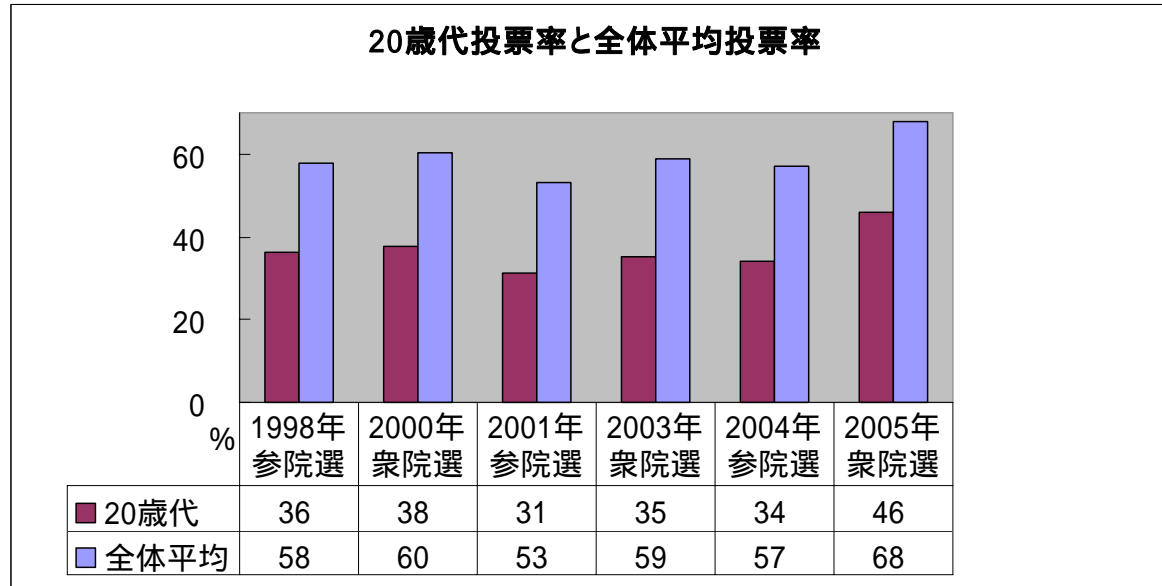
債務額を増やしたのは誰？

債務額を増やした人を選んだのは誰？



## 3 : シティズンシップをどのように育むのか

### (1) 社会の現状 依然として低い、20代の投票率



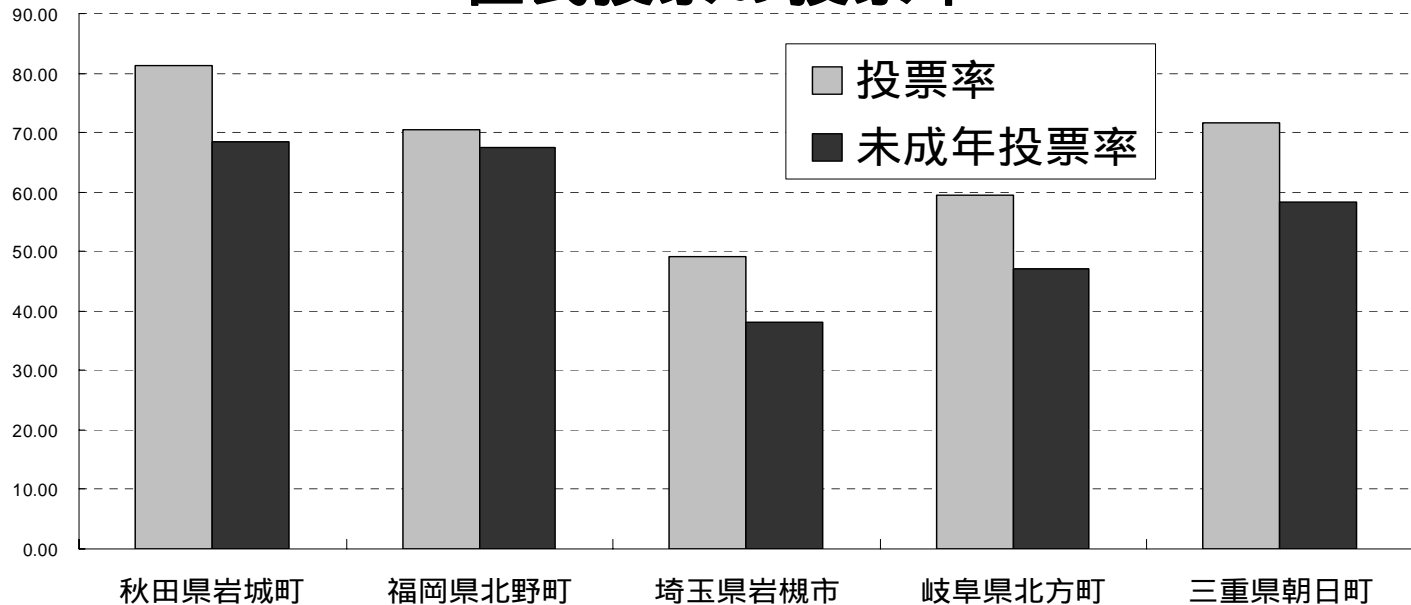
**少子高齢社会では、投票率以上に  
投票者数の格差も生まれている**

若年層の投票率が上がっても、高齢者の絶対数が若年層よりも多いため、若年層の声が反映されにくくなる

## 3：シティズンシップをどのように育むのか

(1) 社会の現状 「住民投票」では未成年の投票率が高い

### 住民投票の投票率



きちんと情報提供のなされる住民投票では、  
若者の投票率も高い

やり方次第で若年層の投票率も底上げできる！！

## 3 : シティズンシップをどのように育むのか

(1) 社会の現状 若者(18歳～24歳)の政治への関心度は高まっている

A: 日本の政治が「良い方向にすすむ」という20歳代の回答

39% (1998年) **81%** (2001年)  
(読売新聞の世論調査、2001年6月)

B: 『政治に対して非常に関心がある・まあ関心がある』

37.2 % (1998年) **46.7 %**  
(内閣府「第7回世界青少年意識調査」 2004年1月)

C: 20歳代の投票率

34% (2004年参院選) **46%** (2005年衆議院総選挙)

## 3：シティズンシップをどのように育むのか

### (1) 社会の現状 “生の政治”を扱うことを拒絶する教育現場

模擬選挙に取り組む学校は、回を重ねるごとに増えているが、実施を検討していた複数の学校において、『中学生、高校生が実際に投票を行なうのは“政治的過ぎる”』との管理職などからの反対で、模擬選挙の実施を断念せざるを得なかった。模擬選挙に対する理解の浸透がすすむ中、こうした方々への対応が重要性を増している

#### 教育者・おとなに責任はないのか？

高校生意識調査(武蔵大学、2001年)によれば、「20歳になった時に選挙に行く」と答えた高校生はわずか33%。政治に関心があるのに投票に行かない若者が現われるのは、今の教育にも責任があるとは言えないか。政治を身近に感じてもらえる仕組みが社会や教育の中にあるのだろうか？

#### [参考]

##### \* 教育基本法 第8条（政治教育）

良識ある公民たるに必要な政治的教養は、教育上これを尊重しなければならない。

2 法律に定める学校は、特定の政党を支持し、又はこれに反対するための政治教育その他政治的活動をしてはならない。

##### \* 中学校学習指導要領 第2節 社会（第1 目標）

広い視野に立って、社会に対する関心を高め、諸資料に基づいて多面的・多角的に考察し、我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を深め、公民としての基礎的教養を培い、国際社会に生きる民主的、平和的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養う。

〔公民的分野〕 1 目標（1）「(略)国民主権を担う公民として必要な基礎的教養を培う」

## 3 : シティズンシップをどのように育むのか

### (2) “社会”は誰のものか

- ・おとな社会は、「子ども」の声に耳を傾けているか？
- ・「社会」「政治」「経済」は、20歳以上の有権者だけのもの？
- ・そもそも「市民社会」「市民参加」という場合の「市民」には、「子ども」が含まれているのか？
- ・子どもの意見表明、社会参加の権利は？
- ・「子ども」は単なる保護の対象？
- ・将来をより長く生きる子どもに、将来を決定する権限をなぜ保障しようとならないのか？

## 3 : シティズンシップをどのように育むのか

### (3) 「シティズンシップ」とは

経済産業省による「シティズンシップ教育と経済社会での人々の活躍についての研究会」報告書より

<http://www.meti.go.jp/press/20060330003/20060330003.html>

#### シティズンシップとは

「多様な価値観や文化で構成される社会において、個人が自己を守り、自己実現を図るとともに、よりよい社会の実現に寄与するという目的のために、社会の意思決定や運営の過程において、個人としての権利と義務を行使し、多様な関係者と積極的に(アクティブに)関わろうとする資質」

シティズンシップ教育を広げていくためには、「学習機会の提供」と「参画の場の確保」が車の両輪

#### シティズンシップが発揮される3分野

公的・共同的な活動(社会・文化活動)

地域や学校、仲間などの中で、市民の多様なニーズや社会的な課題へ対応するために、政府でもなく企業でもなく、市民一人ひとりが自分たちの意思に基づいて、関係者と協力して取り組む活動

政治活動

民主主義社会での司法・立法過程や政策決定過程等、積極的に関与・参画し、自分たちの生活を左右したり、社会の仕組みに影響を及ぼしたりする政策に、自分たちの意見を反映しようとする活動

経済活動

他者と関わり合いながら、社会が必要とする商品やサービスの生産・提供に参加すること、及び、アクティブな消費者として、自分たちの生命や資産を守りながら、さらにそれに留まらず、社会全体にとってプラスと考えられる消費・生活行動を実現する活動

### 3 : シティズンシップをどのように育むのか

(4)次代を担う子ども・若者が社会に参加することこそが、  
市民社会醸成には不可欠

現在の社会は、長期的スパンで考えなければならない問題が山積している。

社会の活力を保つために、世代間格差を是正する必要がある

世代間格差を是正し、持続可能な社会を構築していくためには、未来に責任のある若者が社会に参加し、その声を意思決定に反映させる必要がある

若者の政治的関心は潜在的には高いものの、それを投票につなげていく社会的な仕組みがない

高い意識を持った有権者は自然に育つわけではなく、絶え間ない努力が必要。つまり、民主主義は絶えず作り続けなければならないのであり、民主的  
社会をつくるには、社会が未来の有権者を育てる努力を続けなければいけない



# 問い合わせ

連絡先 特定非営利活動法人Rights

〒106-0032 東京都港区六本木4-7-14みなとNPOハウス4F

TEL&FAX : 03-3796-0822 090-1991-7458(林)

Rightsウェブサイト <http://www.rights.or.jp/>

模擬選挙ブログ <http://www.mogisenkyo.com/>

E-mail [info@rights.or.jp](mailto:info@rights.or.jp) (Rights)

[jza04643@nifty.ne.jp](mailto:jza04643@nifty.ne.jp) (林)

未成年“模擬”選挙 実施体制

呼びかけ 特定非営利活動法人Rights

後援 インターネット新聞『JanJan』

賛同・協力(順不同/敬称略)

模擬選挙実施学校

政策シンクタンク「構想日本」

公開討論会NGOリンカーン・フォーラム及び各地の公開討論会実施団体

各地の模擬選挙実施団体・グループ

若者による政策メディア「seiron」

Manifesta

子どもの権利条約ネットワーク

特定非営利活動法人21世紀教育研究所

投票してくださる未来の有権者の皆さん

特定非営利活動法人Rightsは、「選挙権年齢の引き下げ」「政治教育の充実」を目的に、2000年5月に10代・20代の学生・社会人を中心に結成されたNPO法人(2002年2月内閣府認証)です  
特定非営利活動法人Rightsは、特定の政党・宗教団体の影響下にはありません